

# TRIAL

TECHNICAL SERVICE & RACING DEVELOPMENT

注目  
NEWパーツ  
TOPICS



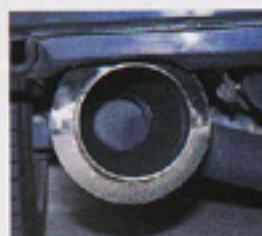
## トライアル・VICTORY II

対応車種：70スープラ(2JZ/7M-GT)

価格8万5000円(受注生産)

EXチューンの  
醍醐味が実感できる、  
チューンドカー用  
スポーツマフラーだ!

小まのタイコ  
にアツカイ、テ  
ール・車検対応  
なだけでなく、  
カにもチューン  
下つて感じにな  
るソ・ツヤ出し  
ついでメインパ  
イプもいいネ。



タイコよりもチールの  
てかき目付。一見、  
うるさそうだけど、音  
量は標準値レベルとい  
うからストロキ、まう  
1000もなんて小径の  
部類カ。



「車検対応なんて軟派なマフラーやないで」とマッキーがコテコテの南国河内弁(九州+大阪)で豪語する、このマフラー。実は、以前、一世を風靡した(どこで? OPT注)ピクトリ・マフラーの後継として蘇った、本格的スポーツマフラーなのだ。  
なにしろ、MA70最速と言われる0-400m、11秒-88を叩き出したトライアル・スーブラ(7MG)に使われていたマフラー(80φ-100φ)をベースに開発されたというだけあって、そのコンセプトはあくまでもハードチューン対応。2.5版では低速トルクが厳しくなるやろ」というくらい、気合の入ったマフラーというわけだ。で、まず、目をひくのは、なんといつても140φというテールエンド。テールはでかきやでかいほど音量が大きくなり、さも、消音に苦労したように思えるが、「ベイスは100φやったけど、100φを越えるともう、音量はさほど変わらへん。それなら、デカイに越したことはないやんけ(マッキー談)とあつからかん。それに



「8万5000円という価格はユーザーサービス。値上げ外視でやらせてもらいま〜」(マッキー談)

にしても、これだけデカイとそれなりの音がしそうだ、実際は車検対応と同等の音量に納まっているところが心憎い。  
材質は、メインパイプ(90φ)がスチール、タイコから後ろがステンレスというハイブリッドタイプ。取り回しはほとんど変えず、なるべくストレート形状にこだわったという。  
「ストリートでももちろん、行けるけど、本領を発揮するのは、やはりサーキットやろな。確かに、低速は厳しくなるかも知れんけど、2.5と3.0のパワーチューンドなら問題はないハズ。とにかく、車検対応にはないマフラーチューンの感動、そして手作りの良さを味わって欲しいわ(マッキー談)。  
ちなみに、このピクトリIIは、完全に受注生産。トライアルの各ショップ(南大阪/東大阪/神戸)に直接注文するというシステムになっているが、もちろん、オンラインも可。その8万5000円というサービスマネージを考えると、そのくらいの手間を惜しんでる場合じゃないゾ。